

幼稚園5歳児

- 「文字・言葉」「数量・図形」「自然」の3つの観点から幼児の経験を教師が見取り、小学校の学習との連続性を整理することで、日々の遊びや生活の中での経験の一つ一つが小学校の学びにつながっていることを教師が意識するようになり、幼児の興味や関心を踏まえた細やかな援助につながった。
- 幼児の経験を丁寧に見取って環境の構成や援助を考えることで、幼児の興味や関心を広げることができた。
- 小学校内に設置された「ななはけラボ」を計画的に活用することで、幼児は小学校でも安心して活動し自己発揮するとともに、就学への期待を高めていた。

文字・言葉

思いや考えを表現し合いながら活動し、感じたことや考えたことを相手に伝えたり、相手の気持ちを考えながら発言したりする。

ゲームのルールを説明するよ。

劇遊びの道具作り



お話に必要な看板を作りたいな。

お店ごっこの準備



「並ぶ場所が分かりやすいように線を引こう。」
「それいいね。」



ななはけラボでお店ごっこ
～小学生に取組を伝える～

数量・図形

どんな形のうろこにしようかな。

様々な素材や遊具に触れ、試したり工夫したりして遊ぶ中で、そのものの特徴や性質に気付いたり、形や数に関心をもったりする。

お店屋さんの食べ物作り



クレープの皮を丸く作りたいな。形を描いて切ってみよう。



こいのぼり作り

大型積み木を使ってお店を作ろう。



巧技台の遊び

自然

自然の変化に関心をもち、自分なりに調べたり、遊びに取り入れたりする。

草花の色水作り



「花や葉できれいな色水ができたよ。」「色が少しずつ違うね。」

栽培物の収穫を通して

雲みたいな形のサツマイモを収穫したよ。

大きいサツマイモは重たいのかな。

ソラマメを大きさに分けて数えてみようよ。

